

早稲田大学大学院政治学研究科 博士学位申請論文の要件

(1) 形式要件

① 論文の一体性

- ・寄せ集めの論文集ではなく一体性のある論文となっている。

② 論文の構成要素

- ・序章、本論、結論という構成を備えている。
- ・序章において、以下の項目についての言及がある。
 - a. 博士学位申請論文において解答を試みる課題。
 - b. 研究課題に関わる先行研究の批判的検討と博士学位申請論文の位置づけ
 - c. 博士学位申請論文の独創性
 - d. 博士学位申請論文の研究に用いた研究方法
 - e. 結論において、序章で設定された課題に対する解答の試みが示されている。
 - f. 脚注または巻末注が適切に示されている。
 - g. 参考文献リスト(Full Bibliography)が示されている。

③ 論文の分量

- ・論文の分量が的確である。(日本語は 200,000 字、英語は 100,000 語以下であること。あるいは、それ以上であつても研究課題に鑑みて適当な分量であること)

④ 研究倫理の遵守

- ・不適切な引用、盗用が存在しない。
- ・その他、研究倫理に反する内容が含まれていない。
- ・過去に発表済みの自著論文(共著含む)で言及した内容が含まれる場合は、適切な引用処理を行っていること。また共著者全員からの同意書を得ていること。

(2) 博士学位申請論文審査基準

- ・論文の意義(学術的に顕著な貢献をしている)
- ・論文の独創性(新しい知見・先行研究との意義ある差異等)
- ・論文の一体性(全体として一つの研究課題を探究した一体性のあるものであり、テーマに相互関連性のない論考の寄せ集めではない)
- ・先行研究の批判的検討がなされている
- ・研究の方法として妥当なものが明示されている
- ・論述の一貫性、整合性(論文の論理構成が一貫して整合的である)
- ・論文の分量およびその妥当性
- ・(研究分野の特性に応じて)出版可能性